

KAS

風の谷

びゅう
VIEW

社会福祉法人 風の谷
相模原市田名7236-3
発行責任者 政野 光廣
042-760-1033

<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>
e-mail:ykoubou@pastel.ocn.ne.jp



【2004年 秋号】

巻頭文	P 2	相模原自閉症支援センターのページ	P 3
やまびこ製品情報	P 4・P 5	自閉症について	P 6
研修報告・ビストロやまびこ	P 7	後援会のページ	P 8

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会 代表者 佐藤 辰男 厚木市中依知85-1-321
毎月15日発行 購読料1部 50円

『今一度原点に...』

最高気温、最低気温（熱帯夜）、連続真夏日など、首都圏で記録的な暑さが続いた今年の長かった夏の記憶もしだいに薄れ、秋の深まりと冬の到来を予感し始めているこの頃です。皆様にはますますご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。

さて、やまびこ工房ではこの夏、一月足らずの間に利用者の親御さん（父親）が二人相次いでお亡くなりになるという何とも悲しくてやるせない出来事が続きました。また、親御さんが亡くなったことと直接すべてが関連するわけではありませんが、さまざまな事情により、開所時（6年前）から在籍していた二名の利用者が、この夏入所施設に支援を求め退所されました。「いずれまたやまびこ工房の支援を受けたい」と言っていたいてはおりますが、地域での暮らしを支援するといながら、十分に支えきることのできていない現実と非力さを噛みしめております。

グループホームへのヘルパー派遣（長時間の見守り介護の獲得）やショートステイ事業とのフレキシブルな連携など、自閉症支援のためのセンター機能の充実等と併せて地域での暮らしを支援するために取り組むべき課題は山積しています。こうした課題を着実にクリアしていきながら、一日も早く入所施設から再び地域の中で、彼らをしっかりと受け止め支援を提供できる状況を構築していきたいと思えます。

その「しっかりと受け止める」ための前提として、今一度やまびこ工房のスタッフ一人一人が自らの足元を再確認する必要があるように思えます。当然のことですが、「受け止める」と言う以上、相手が「受け止めてもらえた」との実感をもてなければ意味がありません。そのような実感を持っていただくためには支援者側が利用者側に常に共感する姿勢を示すよう心がけていることが大切だと思えます。

やまびこ工房は基本理念の第二項目目に【自閉症者本人とその家族が、幾多の厳しくかつ困難な状況を体験しながら生活をしてきた歴史と、現在もまたその只中で生活していることに、まず共感を持って援助にあたります。（原文通り）】と共感することの大切さを掲げています。しかし、果たしてこれが日々の実践でどこまで徹底されているのか、今一度すべてのスタッフ一人一人が基本理念の原点に立ち返る必要があるように思えます。そして、利用者本人や家族はどのような道程を経て『やまびこ工房』と出会い、そしてどのような思いを抱いて日々通って（託して）くれているのか。もっともっと深いところで捉え直してみる必要があるように思えます。

支援費制度がスタートし、「職員が忙しいからきちんと対応されなくても仕方ない」と思われるようなことがあってはなりません。確かに居宅介護事業を始めてからは、サービスを利用する人が増え、サービス提供に係わるスタッフも増えてきました。それに伴い正規の支援スタッフはコーディネート業務が増え、ヘルパー等を介して間接的に支援する機会が多くなっています。そうであるからこそ尚更、実情に即してヘルパー等への指示や助言をきめ細かに行うなどの対応に心がけ、一人ひとりが大事にされている、受け止めてもらっているという実感を持っていただけるよう日々の支援に努めていきたいと思えます。

今後とも更なるご指導とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

施設長 中島博幸

～相模原自閉症支援センターから～

8月の終わりに研修に参加し、そこでTEACCHのG・メジボフ教授の話を聞いてきました。TEACCHの正しい理解(原題はCORE VALUE)というテーマでしたが、その中でメジボフ教授は自閉症の特性(文化)を理解し寄り添っていくことが大切だと強調されていました。自閉症の特性は、今まで何度も聞いたり読んだりしてきたことですが、教授の話術と高機能自閉症やアスペルガーの方の証言や協力がそれを裏付けている事を知り、改めて『なるほど』と感心させられました。同時に解っているつもりの事が油断すると薄れていくということも感じました。

さて、今回は相模原自閉症支援センターでの活動の紹介を通して基本の大切さをお話したいと思います。市内に住む自閉症の男の子から、バスに乗って書店に行き帰りにおやつを食べて帰るといった活動の依頼がありました。活動終了後、ヘルパーから「コウジくん(仮名)、活動とても楽しんでいました。こんな風に楽しんでもらえてヘルパーとして嬉しいです。ただ大きな問題ではないのですが、活動中にあっちへふらふらこっちへふらふらして落ち着きがないです。」と報告がありました。ヘルパーにもう少し詳しい様子を聞くと、コウジくんは自分の気になるものが目にはいると向かっていくようだとのことでした。そこでちょっと考えてみました。ひょっとしたらコウジくんは、誰と行くのか、何をしたらいいのか、がわかっていないのかもしれない、と思いました。なぜなら、この活動は以前からお母さんで行っていたもので、本屋さんで本を買い、マクドナルドでおやつを食べるといった本人の好きな活動でしたから、コウジくんも良くわかっているだろうと決め付けてしまったのです。そこで、活動を文字にして伝えること(スケジュール)にしました。そして、スケジュールにはヘルパーの写真を貼って、誰と一緒に行くのかが一目で分かるようにしました。

さて結果は、コウジくんスケジュールを渡されるとじーっと食い入るように見ていたそうです。そして実際の活動中もふらふらしなくなったということでした。

こんなに上手くいくなんで、それもたった1度で。うれしい驚きでした。これは先に挙げた「誰と何をするのか」ということを視覚的にわかりやすく提示することで、コウジくんは外出に見通しが持てるようになったのです。

「慣れているから」「わかっているだろう」とどちらも気を付けていないとすぐに陥ってしまう落とし穴。その人の強みや弱み、出来ること出来ないことなど、すなわち研修で言われた自閉症の特性を理解し寄り添うことを常に考えた支援でなければいけないと改めて思いました。これは日々の支援においても言えること、関わりが長い分もっと気を付けなければなりません。慢心せず気を引き締めてこれからも支援活動を行っていきたいと思います。



相模原自閉症支援センター 大竹 誠

やまびこ製品特集！

やまびこ工房ではQWLの取り組みの一環として、毎日利用者さんが行っている「作業」を見直し、教材などのどちらかという訓練的なものだけではなく、各企業さんから頂く下請けや刺繍、牛乳パックを再利用した手漉きハガキなどの製品の作成にこれまで以上に力を入れてがんばっています！

そして、これらの製品を元に利用者さん達自身が「俺（私）たちの手でたくさん工賃を稼ぐゾ！」ということに繋がっていったらいいなあ・・・なんて大きな夢を持っています。

今回は日々がんばってくれている利用者さんの様子と共に、これまでの製品を紹介していきたいと思います！
では、利用者さん達の製作現場の突撃レポートをご覧ください！

< 下請け作業編 >



やまびこ工房の会議室は現在、「第1工場」と名前を改め、各企業さんたちから頂いた下請け作業を行っています。

鬼の工場長！

マグネット(あきやま化工さん)



いつもお世話になってます！

紙袋(テクノスさん)



いよいよ年末ですね！がんばって大量納品できるようにします！



どうです？
みなさんとっても真剣なまなざしで作業をしています。
年末に向けて、みんなで頑張ります！（工場長）



紙すきハガキ編

2階の作業室Bでは「第2工場」と名前を改め、紙漉きハガキなどに牛乳パックを再利用してます。材料になる牛乳パックは週に一度、



近くの生協さんまで利用者さんと一緒に行き、頂いています。牛乳パックの再利用は手間がかかりますが、どれもすばらしい製品に姿を変えています。

印刷が白黒なのでちょっと分かりにくいかもしれませんが、ブルーやピンク、押し花入りなどのバリエーションにとんだものを作っています。



(第2工場より)

刺繍編

何と言っても一押しなのが、各作業室でやっている「刺繍製品」です。



コースター

利用者さんに行ってもらったスウェーデン刺繍の生地をきんちゃく袋やコースターに仕上げしています。一針一針、時間をかけて丁寧に仕上げた手作り品なので、大量生産！というわけには行きませんが、少しずつでも製品にしていきたいと思っています。

これからも、ブックカバーやカードケース、小物入れなどの新製品にもチャレンジしていきたいと思っています！！（刺繍チーフより）



きんちゃく袋



一針一針…心をこめて…

まだまだ、ご紹介したい製品はたくさんあるのですが、紙面の関係上、すべてご紹介できず、ごめんなさい。

まだまだ、いろいろな事にチャレンジして、“やまびこブランド”を作りたいと思っています。

刺繍の製作準備や裏地を縫い付けたり、フリンジ（フサフサの部分）を作ったりする仕上げのお手伝いをボランティアでやってくださる方もいらっしゃいます。

こうしたお手伝いしてくれる人を通じてたくさんの人と交流がもてたらいいですね！

そこで！

お手伝い ボランティアさん 大募集中！

やまびこ工房ではお手伝いをしてくれるボランティアの方を募集しています！！
そして、私たちは、たくさんの人との交流の中で、自閉症理解の輪を広げていくと共に、友人、仲間といった、人と人のネットワークを広げていきたいと考えています。

自閉症ってなんだろう？ 何かやってみたい etc. 年齢、経験は問いません！

思い立ったが吉日！ 興味をもった方はまず、お電話を！！

活動内容：散歩やプールなどの外出の付き添い、

作業準備・補助（紙すき、刺繍、下請けの検品、空き缶つぶし etc.）

畑や植栽の手入れ、施設の環境整備（窓拭き etc.）などです。

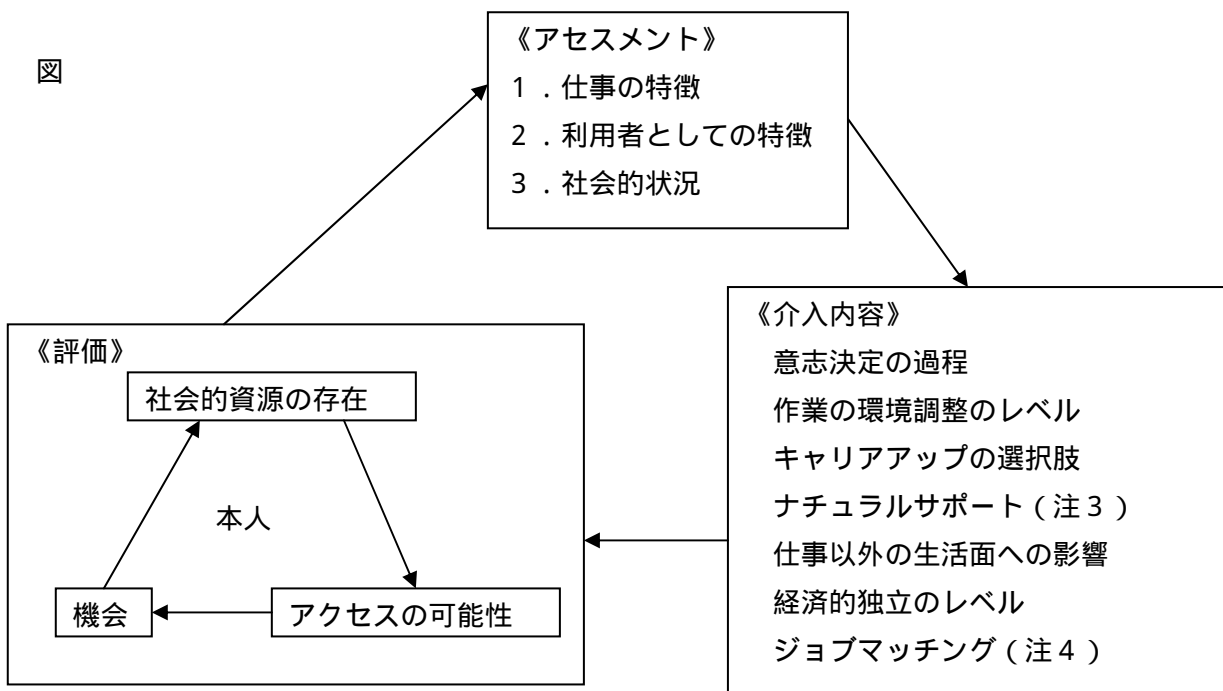
活動時間：月曜～金曜の9：00～16：00 1日でも1時間でも大歓迎です。

お問合せ先：042-760-1033 やまびこ工房 担当：野田

自閉症について

QWLへの取り組み

前回 QWL の概要についてはお話ししましたが、今回はやまびこ工房の利用者さんへの実際の取り組みについてお話ししようと思います。愛媛大学での第39回発達障害学会でもこの内容を発表してきました。やまびこ工房では利用者さん一人ひとりにあった QWL を考える上で、「アセスメント」「介入内容」「評価」「アセスメント」(図)という流れに照らし合わせています。まずアセスメントが一番重要になってきますが、その内容として AAPEP(注1)、WAIS-R(注2)といった検査法の利用、親御さんからの聞き取りや工房での様子などの情報があります。そして、そこから介入内容を考えます。でも闇雲に考えていてもしょうがないですから、QWLには何が要素として含まれているかを整理します。その上で、それらの要素を一人ひとりの仕事について当てはめてゆくと介入すべき点が見えてきます。その介入内容をそれぞれに合わせた形で用いる事によって個別の支援計画を作成する上での指標としました。(西村)



(注1) AAPEP (青年期・成人期心理教育診断検査) 青年期以降の職業適性・生活するための技能の検査。

(注2) WAIS - R (ウェクスラー成人知能検査) 言語性 IQ、動作性 IQ などを算出できる知能検査。

(注3) ナチュラルサポート 障害がある人が職場で働く際にジョブコーチが行うサポートではなくジョブコーチがいなくなった後に、そこで働く従業員から受ける自然なサポートのこと。

(注4) ジョブマッチング 「求められる仕事」と「人材」のマッチング。一人ひとりの特性に合った仕事内容の設定。

《自閉症支援者養成 - 基礎セミナー参加について》

2004年6月19日～20日の2日間、同講座に参加しました。自閉症の基礎知識から評価、構造化、ワークシステム構築などの自閉症者を支援する為のテクニックを学ぶことができました。

この研修では、講義とともに演習が含まれていました。事例を用いて演習を行ない、アセスメント、構造化、自立課題の作成をチームで話し合いながら取り組みました。その中で的確なシステムを構築する事は勿論ですが、チーム全体で評価する事が重要だと教えられました。

講義の中で自閉症児のお母さんのお話を聞く機会がありました。いずれも興味深い話でしたが、印象に残ったのは電車を利用しての通院で、大変苦労されたという話でした。現在、取り組んでいるガイドヘルプサービスはそのニーズへのサポートになっているのだと再認識し、自分の日々の業務の意味と責任を改めて感じさせられました。

また、今回のセミナーにおいて、『評価：アセスメント』がいかに重要なものなのかを再認識する事ができました。自閉症の人の理解を助け混乱を避ける為には、「視覚的、具体的、肯定的にものごとを伝えること」や「個別化された評価に基づき環境を調整すること」が自立を促がす支援になると学びました。

そのような支援のためには、『自閉症』という障害だけでひとまとめにせず、やはり個別化されたアセスメントに基づき、**何が分かっているのか？ 何が得意なのか？ 何ができるのか？ 何に興味があるのか？**などの情報を基に**自閉症の人の立場にたって**考える事が重要な事だと再認識させられました。

更に、検査法を使ったフォーマルなアセスメントだけでなく、日常生活の中で得られる身近な情報（インフォーマル・アセスメント）が利用者の立場にたった支援を行なう上で最も重要であると感じました。そして、その情報を得るためには支援者が利用者を的確に評価する為の“目”が必要だと感じ、今後の支援の中で、より細かく一人ひとりの特徴や状態を把握できる様に努力していきたいと思えます。（渡辺）

ビストロやまびこ

栄養士の桐山です。

やまびこ工房で人気のメニューを紹介します。簡単なので一度、作ってみてください。

つくねのケチャップ焼き（4人分）

材料：鶏挽肉（280g） 玉葱（120g） 椎茸（20g） 塩コショウ（少々） 卵（1個） パン粉（大4） 油
たれ：白ワイン or 酒（4cc） ケチャップ（80cc） 水（40cc） 砂糖（2.4cc） 塩コショウ（少々） 醤油（2.4cc）
つけ合わせ：スパゲティ（40g） 塩コショウ 油 ブロccoli（80g） ドレッシング

*玉葱をみじん切りにし、油で炒める。椎茸はみじん切りにする。

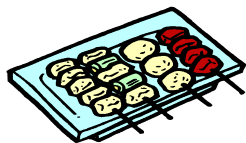
材料を合わせ、よくこねる。人数に分け小判型にまとめ焼く。

たれの材料を入れ煮立たせ、を戻してからめる。

ブロッコリーを茹でてドレッシングで和える。スパゲティは半分に折って茹で、塩コショウで炒める
さあ、美味しいつくねのケチャップ焼きの出来上がり！！



風の谷後援会便り



5月30日(日)に、毎年恒例の地域交流バザーを実施いたしました。当日は晴天に恵まれ多くの方々にお越しいただき、例年にも増して盛況となりました。今回の地域交流バザーを開催するに当たってボランティアの皆様を始め、ご協力頂いた全ての皆様に厚く御礼を申し上げます。

後援会会長 中塚 清

チャリティ公演のお知らせ

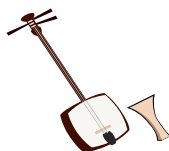
毎年恒例になりましたチャリティ公演を開催します。

平成17年2月12日(土)

【会場】あじさい会館ホール 15:00 開場

【料金】当日：1500円 (前売り：1300円)

問い合わせ：やまびこ工房 042-760-1033



今年は津軽三味線と和太鼓の演奏、そしてコラボレーションです！
特別ゲストとして愛川町が生んだ演歌の歌姫「愛川真希」さんもお出演されます。
日本の伝統に触れるまたとない機会です。そのほか手作り品の販売もあります。
ぜひご家族そろって、ご近所お誘いあわせでお越しください。

平成15年度 風の谷後援会新規・更新者紹介 (H.15.11.12～H.16.3.8 敬称略)

【更新・個人】

(相模原市内)

原徹子、古橋銀之助、今関陽子、川合義正、小川英治、井上進、三田二三夫、堀田脩司、谷口博恵、政野光廣、大久保敬二、清水徹、岩崎和夫、永山明彦、芳賀道子、小林義明、井出豊、高林清、小原政美、小松克明、森合貞雄、原 徹、鈴木秀美、小松真弓、豊田幸男、川勝登美子、佐藤清一、西田明美、高橋ツギ

(その他地域)

青山恵子(横浜市)、大久保秀俊(秦野市)、下田浄(所沢市)、高柳克久(逗子市)、藤田四郎(津久井郡)、塚本寿子(福井県)、中島和之(北海道)

【更新・団体】

伸和トラスト(相模原市)、ワーカーズコープ・キュービック(横浜市)

【新規】

川島和章(相模原市)、岩崎秀二(逗子市)、政野大(茅ヶ崎市)、下田武(大阪市)、山崎テル代(相模原市)

【ご寄付・ご協力】

木下昭二、伸和トラスト、新宿小学校、新宿自治会、三菱さがみ共済会、相模原ボランティア協議会、相模原市社会福祉協議会、ワーカーズコープ・キュービック、ボランティアサークルきずな、県立弥栄高校生有志、中塚会長友人、柳場秀雄、佐藤辰男、(株)セイキ、明治生命保険(相)、高柳彩子、今関陽子、上林律子、木下英夫、木下謙三、他大勢の皆様

いつも、暖かいご支援ありがとうございます。今後とも、どうぞよろしく願っています。

社会福祉法人風の谷 2003 年度決算報告

【貸借対照表】

2004.03.31 現在 (単位円)

資産の部			負債の部		
	当年度末	前年度末		当年度末	前年度末
流動資産	92,849,751	59,491,268	流動負債	29,432,556	7,041,649
固定資産	366,731,245	361,709,765	固定負債	151,748,500	158,235,000
その他の固定資産	50,145,299	31,319,344	負債の部合計	181,181,060	165,276,649
				純資産の部	
			基本金	55,912,098	55,912,098
			国庫補助金等特別積立金	142,904,100	153,482,241
			その他の積立金	23,600,000	600,000
			次期繰越活動収支差額	55,983,732	45,930,045
			純財産の部合計	278,399,930	255,924,384
資産の部合計	459,580,996	421,201,033	負債及び純財産の部合計	459,580,996	421,201,033

【資金収支計算書】

【事業活動収支計算書】

2003.04.01 ~ 2004.03.31 (単位円)

		勘定科目	予算	決算	差異		
經常活動収入	収入	利用料収入	106,034,500	106,969,890	-935,390		
		措置費収入	0	0	0		
		經常経費補助金収入	10,645,000	10,576,263	68,737		
		寄附金収入	6,840,000	6,823,344	16,656		
		雑収入	2,785,000	2,671,978	113,022		
		借入金利息補助金収入	3,425,000	3,425,400	-400		
		受取利息配当金収入	1,500	769	731		
		会計単位間繰入金収入	0	0	0		
		経理区分間繰入金収入	12,650,000	20,637,921	-7,987,921		
		經常収入計	142,381,000	151,105,565	-8,724,565		
		經常活動支出	支出	人件費支出	70,733,000	69,081,273	1,651,727
				事務費支出	20,000,600	18,796,764	1,203,836
				事業費支出	9,403,000	8,589,350	813,650
借入金利息支出	3,467,000			3,461,691	5,309		
会計単位間繰入金支出	0			0	0		
経理区分間繰入金支出	12,650,000			20,637,921	-7,987,921		
經常支出計	116,253,600			120,566,999	-4,313,399		
經常活動資金収支差額	= -			26,127,400	30,538,566	-4,411,166	
施設整備等による収入	収入			施設整備等補助金収入	0	0	0
				施設整備等寄附金収入	180,000	80,000	100,000
		固定資産売却収入	0	0	0		
		施設整備等収入計	180,000	80,000	100,000		
		施設整備等による支出	支出	固定資産取得支出	751,000	651,000	100,000
元入金支出	0			0	0		
施設整備等支出計	751,000			651,000	100,000		
施設整備等資金収支差額	= -	-571,000	-571,000	0			
財務活動による収入	収入	借入金収入	5,000,000	5,000,000	0		
		投資有価証券売却収入	0	0	0		
		借入金償還補助金収入	10,380,000	10,380,000	0		
		積立預金取崩収入	24,700,000	12,700,000	12,000,000		
		その他の収入	0	0	0		
		財務収入計	40,080,000	28,080,000	12,000,000		
		財務活動による支出	支出	借入金元金償還金支出	11,380,000	11,380,000	0
				投資有価証券取得支出	0	0	0
				積立預金積立支出	24,700,000	35,700,000	11,000,000
				その他の支出	0	0	0
流動資産評価減等による資金減少額等	0			0	0		
財務支出計	36,080,000			47,080,000	-11,000,000		
財務活動資金収支差額	= -	4,000,000	-19,000,000	23,000,000			
予備費	5,307,500	0	5,307,500				
当期資金収支差額合計	= + + -	24,248,900,000	10,967,566	13,281,334			
前期末払資金残高	52,449,619	52,449,619	0				
当期末払資金残高	76,698,519	63,417,185	13,281,334				

		勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減		
事業活動収入	収入	利用料収入	106,969,890	4,060,000	102,909,890		
		措置費収入	0	61,576,430	-61,576,430		
		經常経費補助金収入	10,576,263	26,015,855	-15,439,592		
		寄附金収入	6,823,344	7,236,285	-412,941		
		雑収入	2,671,978	5,905,370	-3,233,392		
		借入金元金償還補助金収入	10,380,000	10,380,000	0		
		引当金戻入	662,500	381,500	281,000		
		国庫補助金等特別積立金取崩額	10,578,141	12,311,186	-1,733,045		
		事業活動収入計	148,662,116	127,866,626	20,795,490		
		事業活動支出	支出	人件費支出	69,081,273	57,770,137	11,311,136
				事務費支出	18,796,764	18,572,491	224,273
				事業費支出	8,589,350	8,824,686	-235,336
				減価償却費	18,629,520	20,823,329	-2,193,809
徴収不能額	0			0	0		
引当金繰入	556,000			588,500	-32,500		
事業活動支出計	115,652,907			106,579,143	9,073,764		
事業活動外収支差額	= -			33,009,209	21,287,483	11,721,726	
事業活動外収入	収入			借入金利息補助金収入	3,425,400	3,653,760	-228,360
				受取利息配当金収入	769	752	17
		会計単位間繰入金収入	0	0	0		
		経理区分間繰入金収入	20,637,921	8,522,168	12,115,753		
		投資有価証券売却収入	0	0	0		
		有価証券売却収入	0	0	0		
		事業活動外収入計	24,064,090	12,176,680	11,887,410		
		事業活動外支出	支出	借入金利息支出	3,461,691	3,653,760	-192,069
				会計単位間繰入金支出	0	0	0
				経理区分間繰入金支出	20,637,921	8,522,168	12,115,753
投資有価証券売却原価	0			0	0		
有価証券売却原価	0			0	0		
雑損失	0			7,000	-7,000		
事業活動外支出計	24,099,612	12,182,928	11,916,684				
事業活動外収支差額	= -	-35,522	-6,248	-29,274			
經常収支差額	= +	32,973,687	21,281,235	11,692,452			
特別収入	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0		
		施設整備等寄附金収入	80,000	180,000	-100,000		
		固定資産売却収入	0	0	0		
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	90,758	-90,758		
		特別収入計	80,000	270,758	-190,758		
		特別支出	支出	基本金組入額	0	0	0
				固定資産売却損・処分損	0	663,352	663,352
国庫補助金等特別積立金積立額	24,700,000			0	0		
特別支出計	24,700,000			663,352	24,036,648		
特別収支差額	= -	-24,620,000	-392,594	-24,227,406			
当期活動収支差額	= +	8,353,687	20,888,641	-12,534,954			
繰越活動収支差額	繰越	前期繰越活動収支差額	45,930,045	25,041,404	20,888,641		
		当期末繰越活動収支差額	= +	54,283,732	45,930,045	8,353,687	
		基本金取崩額	0	0	0		
		基本金組入額	0	0	0		
		その他の積立金取崩額	12,700,000	0	12,700,000		
その他の積立金積立額	11,000,000	0	11,000,000				
次期繰越活動収支差額	= + -	55,983,732	45,930,045	10,053,687			
+	-						

社会福祉法人風の谷の2003年度決算報告は上記の通りです。

2004年3月31日現在の資産総額は、278,399,930円であることを証明致します。

2003年5月21日 監事 彦坂 健一郎 印
監事 関水 実 印

風の谷後援会 2003 年度決算報告

2003.04.01 ~ 2004.03.31 (単位円)

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
会費収入	735,000	個人・団体	法人寄付金	6,700,000	
事業収入	391,299	チャリティ公演、バザー等	事業支出	187,025	
寄付金	6,156,220	個人・団体、募金他	事務費	39,315	5周年記念品送料、通信費
雑収入	100,962	資源回収奨励金他	雑費	29,080	活動、渉外費等
前期繰越金	3,128,175		次期繰越金	3,556,236	
合計	10,511,656		合計	10,511,656	

風の谷後援会の2003年度決算について上記の通り報告致します。 会計 大久保喜美子 印

監査の結果、上記の通り相違ありません。 会計 百田 喜代子 印

会計監査 荻原章子 印

会計監査 清水恵美子 印